改定成作日　2020 年 5 月 1 日

安全データシート

1．製品及び会社情報

製品名　光学用ヘリコイドグリス ＃40
会社名　株式会社　ジャパンホビーツール
住所　〒170-0002　東京都豊島区巣鴨1−10−5
担当部門　営業部
電話番号　03-3944-1683
緊急時の電話電話番号　03-3944-1683
FAX 番号　03-3944-1684

2．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類　分類基準に該当しない
他の危険有害性：　GHS 分類による注意書きに記載がない場合でも、以降の情報を参考に安全対策／応急措置／保管／＋廃棄に関し充分な配慮を行うこと

3．組成、成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物
化学名又は一般名：　グリース（合成炭化水素、増ちょう剤及び添加剤）

成分及び含有量：

成分	含有量	化学式	官報公示番号（化審法・安衛法）	CAS 番号
基油（ﾎﾟﾘｱﾙﾌｧｵﾚﾌｨﾝ）	８０ ％	非公開	非公開	非公開
増ちょう剤（ﾘﾁｳﾑｾｯｹﾝ）	１０ ％	非公開	非公開	非公開
潤滑油添加剤	１０ ％	非公開	非公開	非公開

4．応急措置

吸入した場合：　新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
皮膚に付着した場合：　水と石鹸で皮膚を速やかに洗浄すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること。
目に入った場合：　水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合：　直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
口の中が汚染されている場合は水で十分に洗うこと。
最も重要な兆候及び症状：　現在のところ有用な情報なし
応急措置をする者の保護：　現在のところ有用な情報なし
医師に対する特別な注意事項：現在のところ有用な情報なし

5．火災時の措置

消火剤：　泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂、霧状の消火液
使ってはならない消火剤：　棒状水の注水は火災を拡大し危険な場合がある。
特有の消火方法：　泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。危険でなければ火災区域から容器を移動する。
火災の種類に応じて適切な消化剤を用いる。
消火を行う者の保護：　消火作業の際は、適切な空気呼吸器、保護衣を着用する。
火災周辺の措置：　火災周辺は関係者以外立入禁止とする。周囲の可燃物設備を散水して冷却する。
移動可能な可燃物は安全な場所へ移す。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項：漏洩物に触れないこと。
作業者は適切な保護具を着用し眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
密閉された場所に立ち入る前に換気する。
適切な防護衣を着けていない時は破損した容器あるいは漏洩物に触れないこと。

環境に対する注意事項：少量でも下水、河川等へ流出することがないよう注意する。

回収、中和：　少量の場合はヘラ等で除いたり、紙布等でふき取る。
大量の場合は乾燥砂や不燃材料で吸収しあるいは覆って密閉できる空容器に回収し、その後をウエス等で拭き取る。

二次災害の防止策：　すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花、火炎の禁止）
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項：　周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒、落下、衝撃を加えるなどの取扱いをしない。接触、吸入又は飲み込まないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。

保管　術的対策：　消防法の規定に従った対策をとること。
保管条件：　熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。
酸化剤から離して保管すること。
容器は密閉して直射日光を避け換気の良い冷所で保管すること。
貯蔵時最高最低温度は、−10℃～ 40℃

8．暴露防止措置

管理濃度：　設定されてない。

許容濃度：　(産衛学会) 設定されてない。
（ACGIH）時間荷重 (TWA) 平均値設定されていない

設備対策：　ミストが発生する場合は発生源の密閉化、または換気装置を設ける・
取扱場所の近くに眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具　呼吸器の保護具：必要に応じ、マスク等を使用する。
手の保護具：　長期間又は繰返し接触する場合は耐油性保護手袋をする。
眼の保護具：　飛沫が飛ぶ場合は保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具：長時間にわたり取扱う場合は耐油性作業衣を着用する。

適切な衛生対策：　取扱い後はよく手を洗うこと。

9．物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：ペースト、白色

臭い：　微香性

ｐＨ：　データ無し

流動点：　データ無し

融点、凝固点：　データ無し

沸点、初留点及び不当範囲　データ無し

引火点：　200℃以上（セタ式）

燃焼又は爆発範囲：　基油の爆発限界は次のように推定される。
上限 7% 下限 1%

蒸気圧：　データ無し

蒸気密度（ 空気＝1 ）：　データ無し

比重（密度）：　データ無し

溶解度：　水に対する溶解性：不溶

オクタノール／水分配係数：　データ無し

自然発火温度：　データ無し

10．安定性及び反応性

安定性：　常温で安定である。
危険有害反応可能性：　自己反応性、酸化性、自然発火性、爆発性はない。
避けるべき条件：　強酸化剤との接触をさける。
混融危険物質：　強酸化剤
危険有害な分解生成物：不完全燃焼により一酸化炭素を生じることがある。

11.有害性情報

急性毒性 : 経口 ラット LD50:5g/kg 以上 (推定値)
経皮 ラット LD50 データ不足のため分類できない。
吸入 (蒸気) 現在のところ有用な情報無し
情報無し
吸入 (ミスト) 現在のところ有用な 情報無し
皮膚腐食性、刺激性：　現在のところ有用な 情報無し
眼に対する重篤な損傷：現在のところ有用な 情報無し
呼吸器感作性：　現在のところ有用な情報無し
生殖細胞変異原性：　現在のところ有用な情報無し
発がん性：　合成油：IARC,NTP には収録されていない。
添加剤：現在のところ有用な 情報無し
生殖毒性：　現在のところ有用な 情報無し
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露): 現在のところ有用な情報無し
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露): 現在のところ有用な情報無し
吸引性呼吸器有害性：　現在のところ有用な情報無し

12．環境影響情報

生態毒性：　現在のところ有用な情報無し
残留性／分解性：　現在のところ有用な情報無し
生体蓄積性：　現在のところ有用な情報無し
土壌中の移動性：　現在のところ有用な情報無し
オゾン層への有害性：データなし

13．廃棄上の注意

残余廃棄物 :　廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼し委託し処理する。
汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルか、関連法規並びに地方自治体の 基準に従って適切な処分を行う。

14．輸送上の注意

国際規則
海上規則情報：非危険物
航空規則情報：非危険物
国内規則
陸上規則情報：非危険物
海上規則情報：非危険物
航空規則情報：非危険物
特別の安全対策：輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れがないよう積み込み、荷くずれ防止をする。
取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

15．適用法令

消防法：　非危険物 指定可燃物（可燃性固体 指定数量 3,000kg）
労働安全衛生法：　非該当
PRTR 法：　非該当
(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)

毒物及び劇物取締法：　非該当
水質汚濁防止法：　油分排出規制 (ノルマルヘキサン抽出分として検出される。)
海洋汚染防止法：　油分排出規制（原則禁止）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）
下水道法：　鉱油類排出規制（５㎎／Ｌ許容濃度）

１６．その他の情報

参考文献：原材料メーカーＳＤＳ
許容濃度の勧告 (2010) 日本産業衛生学会 産業衛生学会誌
記載内容は現時点で入手出来る資料や情報に基づいて作成しておりますが、
記載データ及び評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合は、
さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。